

# 5年度に表彰制度導入

## 技術提案の選定慎重姿勢

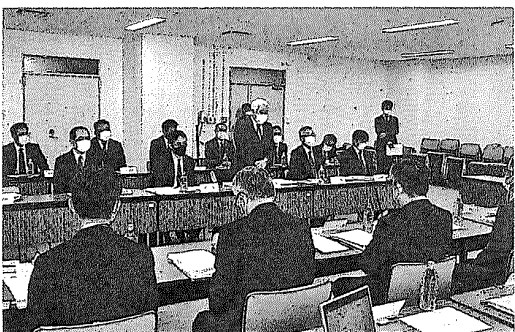
【大分】(一社)建設コンサルタント協会九州支部(田中清支部長)は17日、大分県と意見交換会―写真―を開催。業務成績評定の公表について

【大分】(一社)建設コンサルタント協会九州支部(田中清支部長)は17日、大分県と意見交換会―写真―を開催。業務成績評定の公表について

意見交換会には、建コン協九州支部から田中支部長や中川裕副支部長のほか、支部理事や地元会員ら。県側からは豊田源太郎審議監、三村一参事兼建設政策課長、古庄和紀公共工事入札管理室長、小西英司工事検査室長らが出席した。

意見交換のテーマは、各県共通の▽担い手確保等の環境整備▽技術力による選定▽品質の確保・向上のほか、大分県への個別提案として▽業務成績評定の公表▽合同現地踏査▽契約手続き等における電子文書の導入―となっている。

業務成績評定の公表に



受発注者間で情報共有を図る合同現地踏査については、県が共通仕様書に必要があれば可能と明記しており、受注者が必要と判断すれば発注者に積極的に提案してほしいと回答。電子文書の導入につ

いて、契約書が持参または郵送となっており、円滑な業務遂行のため電子化を要望。大分県は、全庁的に電子化を検討しており、他県の状況を参考にしながら検討したいと前向きな姿勢を見せた。

このほか建コン協は、大分県の早期繰り越しなどによる発注平準化や条件明示チェックシートの活用について他の自治体

よりも取り組みが進んでいることを高く評価。詳細設計の発注の際に明示すべき条件を確認する条件明示チェックシートの取り組みについては、次のステップとして詳細設計から施工への申し送り条件を明示した施工条件明示チェックシートを建コン本部で作成中で、完成後に内容を紹介したいと伝えた。